チリ共和国との震災教訓の共有（河北新報社「むすび塾」実施支援）

掲載日:2014 年 1 月 11 日　　(C)河北新報社

（第三種郵便物認可）　河北新報　平成２６年（2014年）１月１１日（土曜日）特集　（１４）

いのちと地域を守る　毎月11日掲載　　防災・減災のページ

カレンダーに「災日」記入

■被害軽減へ一年の計

「家族防災会議」で温故知新

2014年は新潟県中越地震とスマトラ沖地震の発生から、10年の節目を迎える。ことし、どんな自然災害が起きるか誰にも分からないが、少しでも被害を軽減できるように、十分な備えを心掛けたい。新しい年のスタートに当たり、家族や仲間の無事を願い、オリジナルの防災・減災カレンダーを作ってみよう。

20世紀以降を中心に、国内で発生した主な地震、津波、台風、噴火は裏の通り。カレンダーの作り方は簡単だ。まずスケジュールが入ってきるタイプのカレンダー用意する。表を参考にしながら、自然災害の発生日に、災害の名称を書き込む。原稿完成だ。

表は過去の自然災害から一部を抜粋しただけ。それでも書き込んでみると、季節を問わず、どこかで自然災害が発生し、大きな被害を及ぼしていることが分かるだろう。カレンダー作りを通じ、かけがえ、避難場所や連絡先、持ち出し品を確認する「家族防災会議」を開くことも勧めたい。

A4サイズの専用カレンダーは、河北新報社ホームページからダウンロードできる。また、トップページにある「むすび塾・防災減災のページ」のバナーから特集ページに入る。「かほピョン防災・減災カレンダー」のバナーをクリックして、カレンダー画像一覧を開いた後、各月ごとに印刷して使ってもらう。

カレンダーは1ヶ月単位で、河北新報社のマスコット「かほピョン」と仲間たち季節のイラスト。月替わりで「家具が倒れない工夫をしよう！」（2月）「地震雷は地面をとと鳴れ！よう！」（9月）「海の近くで地震が起きたら、高い所に逃げよう！」（11月）といった伝えのメッセージを入れた。

河北新報社ＨＰからダウンロード

考える

主な自然災害

月 日	自然災害	年	月 日	自然災害	年
1月17日	阪神大震災	1995年	8月9日	青森県東方沖地震	1901年
2月28日	チリ大地震津波	2010年	16日	8・16宮城地震	2005年
3月3日	昭和三陸津波	1933年	31日	キティ台風	1949年
4日	十勝沖地震	1952年	9月1日	関東大震災	1923年
11日	東日本大震災	2011年	2日	ジェーン台風	1950年
20日	福岡県西方沖地震	2005年	2日	紀伊半島豪雨	2011年
25日	能登半島地震	2007年	2日	竜巻(埼玉県、千葉県)	2013年
4月30日	宮城県北部地震	1962年	14日	カスリーン台風	1947年
5月6日	竜巻(茨城県つくば市など)	2012年	15日	アイオン台風	1961年
23日	チリ地震津波	1960年	24日	竜巻(愛知県豊橋市)	1999年
26日	日本海中部地震	1983年	25日	洞爺丸台風	1954年
26日	三陸南地震	2003年	26日	伊勢湾台風	1959年
6月3日	雲仙・普賢岳噴火	1991年	26日	十勝沖地震	2003年
12日	宮城県沖地震	1978年	10月4日	北海道東方沖地震	1994年
14日	岩手・宮城内陸地震	2008年	6日	鳥取県西部地震	2000年
15日	明治三陸大津波	1896年	13日	ルース台風	1951年
16日	新潟地震	1964年	16日	伊豆大島土石流	2013年
20日	デラ台風	1949年	23日	新潟県中越地震	2004年
7月3日	昭和47年7月豪雨	1972年	11月7日	竜巻(北海道佐呂間町)	2006年
12日	北海道南西沖地震	1993年	15日	伊豆大島噴火	1986年
13日	貞観三陸地震	869年	12月2日	慶長三陸地震	1611年
15日	磐梯山噴火	1888年	7日	東南海地震	1944年
16日	新潟県中越沖地震	2007年	21日	南海地震	1946年
26日	宮城県連続地震	2003年	23日	安政東海地震	1854年
26日	新潟・福島豪雨	2011年	24日	安政南海地震	1854年
8月5日	浅間山噴火	1783年	28日	三陸はるか沖地震	1994年
5日	8・5豪雨	1986年	31日	元禄地震	1703年

※理科年表などから抜粋。台風、豪雨は被害を受けた日が地域で異なる

探る

東北大助教　和田　育子さん

地下温度構造と水分布 追究

東北・西南日本のように、海洋プレートが接に、海洋プレートが沈み込んでいる地帯（沈み込み帯）では、地下の温度と水の分布は、これらの地震や火山の発生に深く関係する。温度と水の分布を知ることは、地震や火山の発生メカニズムを解明する上で重要な研究である。

プレート運動などにより蓄積されたひずみを解消するため、地下の脆弱な部分で、ずれを伴う地震が起こるが、非地震性のゆっくりとした滑りとなるかは、岩石の変形特性や温度に依存する。温度や変形特性を若干変化させる要因の一つである。

また、水が流れ込むと、流入したり、生成したり、水が岩石を軟化させる。地震やマグマを生成する。

火山活動も温度と水の影響を受けている。火山の温度と水の分布は、これらの地震や火山の発生メカニズムを解明する上で重要な研究である。

プレート運動などにより蓄積されたひずみを解消するため、地下の脆弱な部分で、ずれを伴う地震が起こるが、非地震性のゆっくりとした滑りとなるかは、岩石の変形特性や温度に依存する。温度や変形特性を若干変化させる要因の一つである。

また、水が流れ込むと、流入したり、生成したり、水が岩石を軟化させる。地震やマグマを生成する。

火山活動も温度と水の影響を受けている。火山の温度と水の分布は、これらの地震や火山の発生メカニズムを解明する上で重要な研究である。

地震やマグマを生成する地下数キロの地殻内は、海洋プレートには、含まれる地下温度構造や水分布の研究は、地震発生やマグマ生成の理解に不可欠である。

地震やマグマ生成がどのような条件で起こり、どのように分布しているか。これらを理解するために、私は東北・西南日本をはじめとする世界各地の沈み込み帯の温度や水の分布を数値的に推定する研究に取り組んでいる。

・実験データの収集を行っている。

海洋プレートには、含まれる地下温度構造や水分布の研究は、地震発生やマグマ生成の理解に不可欠である。

地震やマグマ生成がどのような条件で起こり、どのように分布しているか。これらを理解するために、私は東北・西南日本をはじめとする世界各地の沈み込み帯の温度や水の分布を数値的に推定する研究に取り組んでいる。

・実験データの収集を行っている